

プレディクティブコールを行った結果を、リストに対して、いつ（日）・だれが（OP）・どのくらい通話したのかを分析します。数の判定は、OPが架電後に選ぶ「ステータス」が基準となります。

<一般分析画面>

①条件入力



「分析開始」ボタン

- ・所属
=設定されている所属が表示されます。
- ・担当OP（複数選択可能）
=登録されているOP機能を持ったユーザーが表示されます。
- ・フリー1（分析用）※図では、県 と表示（複数選択可能）
=OP画面設定で、フリー1（分析用）に設定された項目が表示されます。
- ・フリー2（分析用）※図では、市・区 と表示（複数選択可能）
=OP画面設定で、フリー2（分析用）に設定された項目が表示されます。
- ・フリー3（分析用）（複数選択可能）
=OP画面設定で、フリー3（分析用）に設定された項目が表示されます。
- ・期間選択
=分析を行いたい期間を設定します、どちらも同じ日付にすると、その日付のみを分析期間とします。
- ・○日付帯 ○時間帯
=分析結果を、日付帯で表示するか、時間帯で表示するか選択できます。

①デフォルトでは、期間は一般分析画面を開いた日となっており、その他は何も選択されていない状態ですので、任意に設定し「分析」ボタンをクリックしてください。

※ポイント

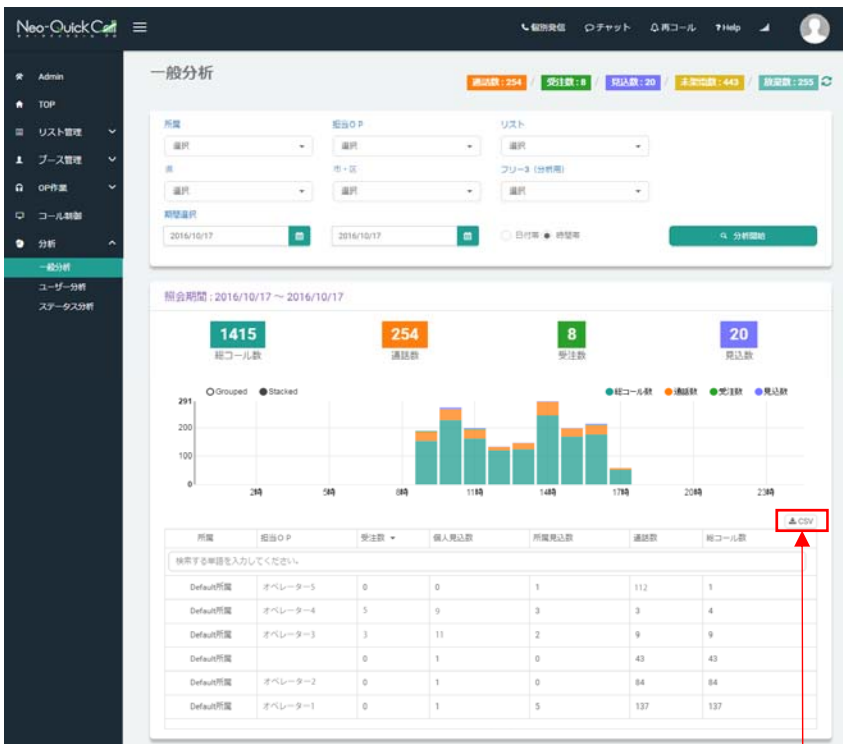
左図では、フリー分析用は以下に設定されています。

- ・フリー1（分析用）
=県
- ・フリー2（分析用）
=市・区
- ・フリー3（分析用）
=設定無し

プレディクティブコールを行った結果を、リストに対して、いつ（日）・だれが（OP）・どのくらい通話したのかを分析します。数の判定は、OPが架電後に選ぶ「ステータス」が基準となります。

<一般分析画面>

②分析結果 – 日付のみ指定



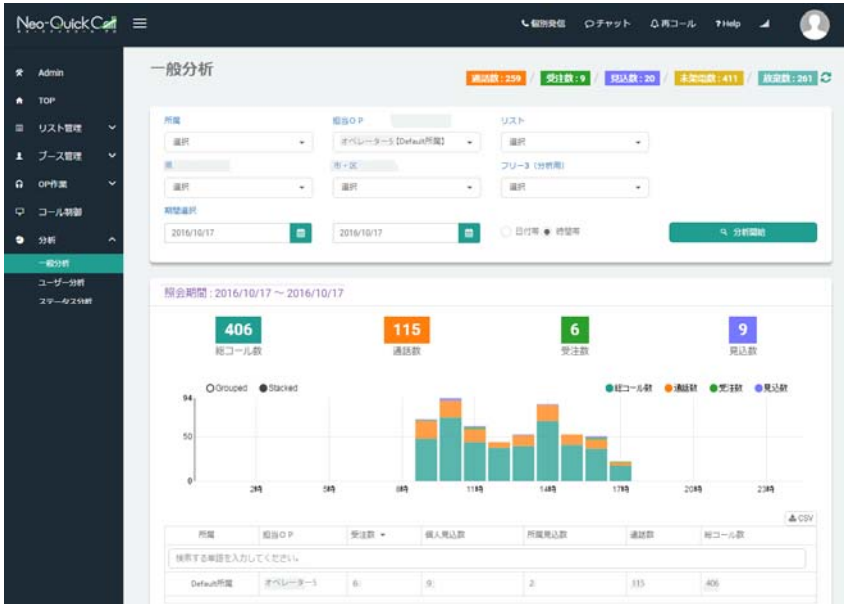
②左図は、2016/10/17 のみを条件として分析した結果となります。

エクスポートボタン

- ・総コール数
= 設定した期間内に、プレディクティブコールを行った総数が表示されます。
ただし、「架電結果設定」のステータス修正で、コール数に含まないステータスが選択されていた場合、総コール数として集計されません。
- ・通話数
= 設定した期間内に、選択したOPが実際に通話した総数が表示されます。
ただし、「架電結果設定」のステータス修正で、通話数に含まないステータスが選択されていた場合、通話数として集計されません。
- ・受注数
= 設定した期間内に、選択したOPが受注ステータスを選んだ数が表示されます。
ただし、「架電結果設定」のステータス修正で、受注数に含まないステータスが選択されていた場合、受注数として集計されません。
- ・見込数
= 設定した期間内に、選択したOPが見込みステータスを選んだ数が表示されます。
ただし、「架電結果設定」のステータス修正で、見込数に含まないステータスが選択されていた場合、見込数として集計されません。
- ・エクスポートボタン
= 分析結果をCSV形式で、エクスポートすることができます。

<一般分析画面>

③分析結果 - 担当OP指定・日付 指定



<分析条件>

担当OP = オペレーター5
 期間 = 2016/10/17

<分析結果>

オペレーター5は、2016年10月17日の架電業務において、システムが406コール行い、架電先と115回通話し、6件の受注と9件の見込みを獲得した。

③左図は、担当OP・日付を指定した結果になります。

※ポイント
 分析条件を変更していただくことで、様々な分析が可能になります。